

JETRO

Japan External Trade Organization

Japan External Trade Organization

江西省、南昌市概況

日本貿易振興機構（ジェトロ） 武漢事務所

2015年8月

【免責条項】

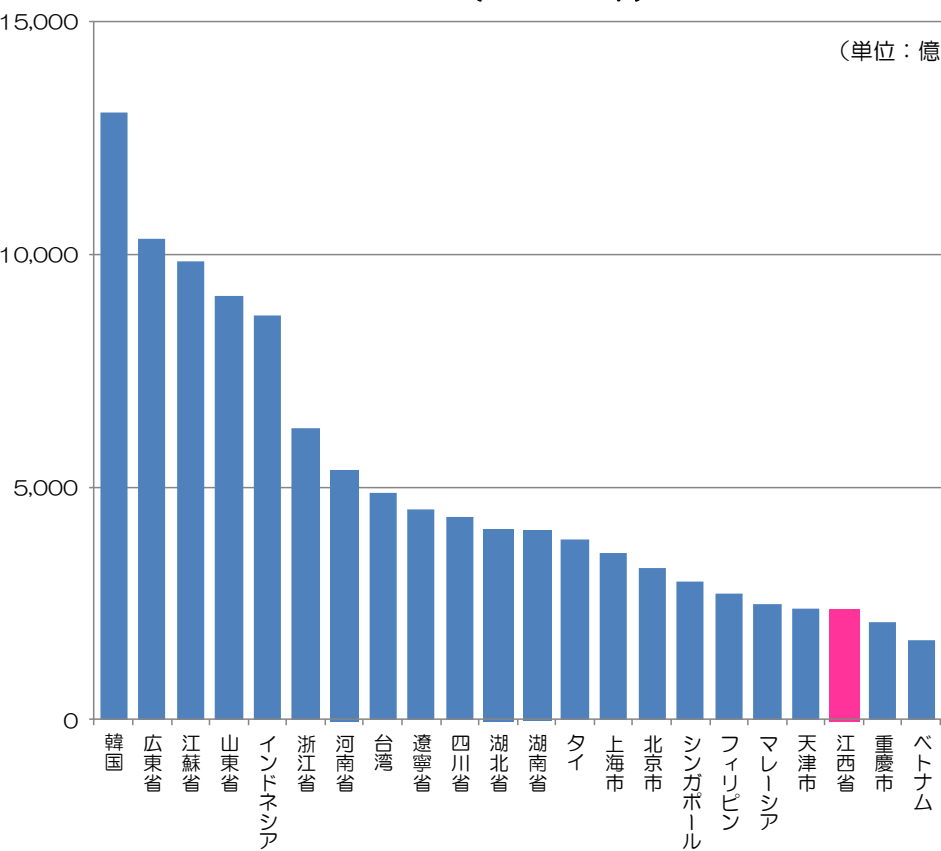
本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、万一、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

「禁無断転載」

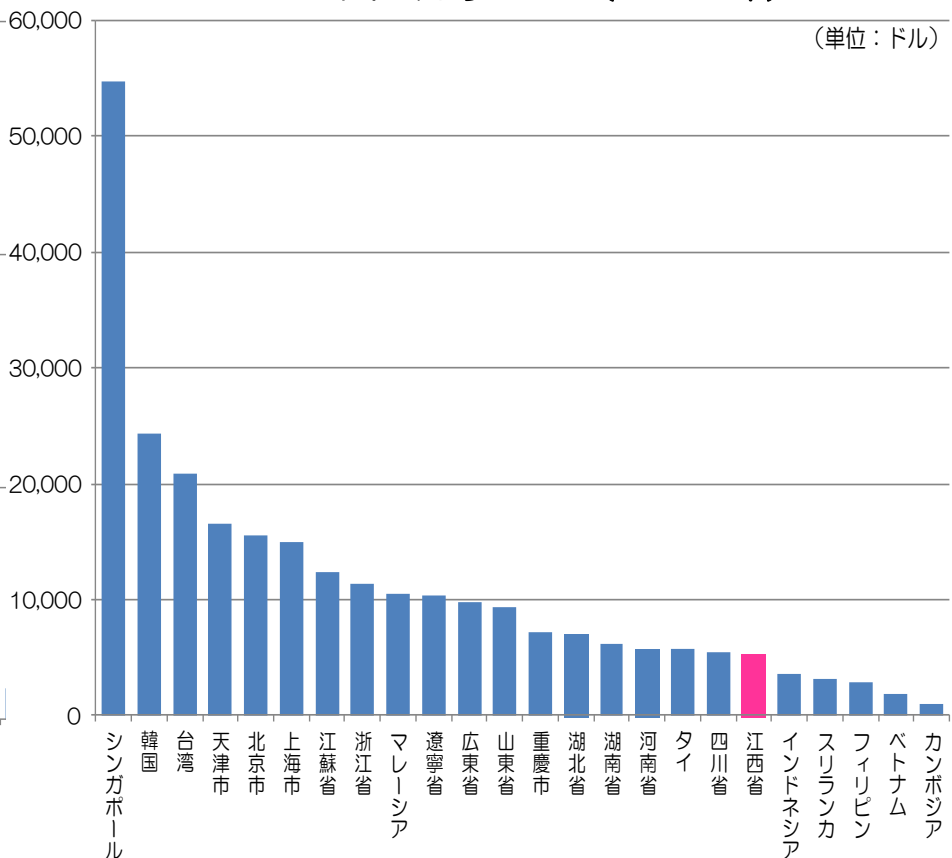
中国主要省市とアジア諸国のGDPと1人当たりGDP（2013年）

- 広東省、江蘇省および山東省のGDPは、ASEANで最大のGDPを誇るインドネシアを超えた。他の中国の主要省市のGDPもASEAN諸国の1国のGDPに匹敵する規模。
- 1人当たりGDPでは、沿岸部の省市の1人当たりGDPは1万ドル前後で、マレーシアやタイ、インドネシアを上回る。江西省はインドネシアを上回る。

GDP（2013年）



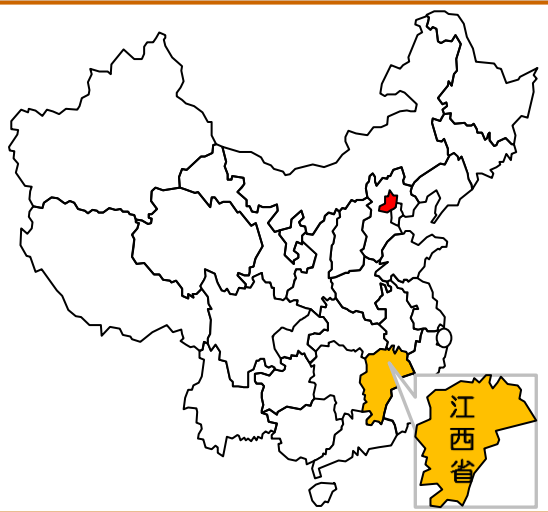
1人当たりGDP（2013年）



(注) 中国の省・自治区・直轄市のGDPは、「中国統計年鑑2013」を基に1 USD=6.007RMBで試算。中国以外の国、地域（台湾含む）はジェットロWEBで公開している名目GDP。

(出所：「中国統計年鑑2014」、ジェットロWEBから作成)

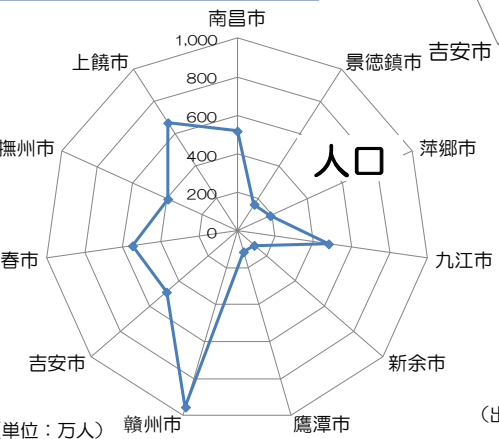
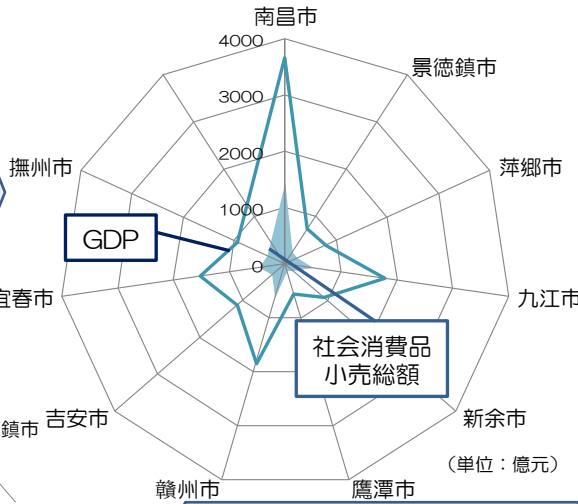
江西省の概況



- 中国の東南部、長江の中下流の南岸に位置。省都は南昌市。江西省景德鎮は漢朝から磁器製造が始まり、国内外で名をはせた。中国の英語名「China」も磁器から生まれたという。
- 江西省は、鉱物資源が豊富で、銅の埋蔵量が全国1位、アジア最大の銅山と中国最大の銅の製錬基地がある。タングステン、銀、ウラニウム、金といった鉱物の埋蔵量も全国TOP3に入っており、ジスプロシウム（レアアースの一種）が商業的に採掘できる世界唯一の地域として知られる。華東、華南の2大経済圏の中間に位置していることで、労働集約型産業の沿海部からの産業移転先として近年注目を浴びる。
- 14年のGDPは前年比9.7%増の1兆5,709億元。貿易額は前年比16.4%増の428億ドル。
- 主要産業は非鉄産業以外に、電子情報、食品、紡績、自動車、医薬産業がある。
- 進出する大手外資企業には、独ゲトラグ、米フォード、いすゞ自動車、スズキ、武蔵野化学研究所、マブチモーターなどがある。江西省にある日系企業数は62社（14年）、うち省都南昌市には19社（14年）で、日系企業の進出は分散しているのが特徴。14年の外国投資額（実行ベース）は約85億ドル、うち香港・台湾系企業が73億ドルで全体の87%を占める。

2014年	単位	江西省	伸び率	南昌市	伸び率	江西省に占める 南昌市の割合
面積	万km ²	16.69	—	0.74	—	4%
常住人口	万人	4,542	0.4%	518	+7.6万人	11%
一人当たりGDP	元	34,661	9.2%	70,373	8.7%	203%
GDP	億元	15,709	9.7%	3,668	9.8%	23%
うち第一次産業	億元	1,684	4.7%	165	5.0%	10%
うち第二次産業	億元	8,388	11.1%	2,017	8.2%	24%
うち第三次産業	億元	5,637	8.8%	1,486	10.6%	26%
社会消費品小売総額	億元	5,129	12.7%	1,429	12.5%	28%
都市住民1人当たり可処分所得	元/年	24,309	9.9%	29,091	10.0%	120%
貿易額	億ドル	428	16.4%	122	25.9%	29%
うち輸出	億ドル	320	13.7%	84	15.2%	26%
うち輸入	億ドル	107	25.2%	38	58.5%	35%
外国投資額 (実行ベース)	億ドル	85	11.9%	32	8.4%	38%

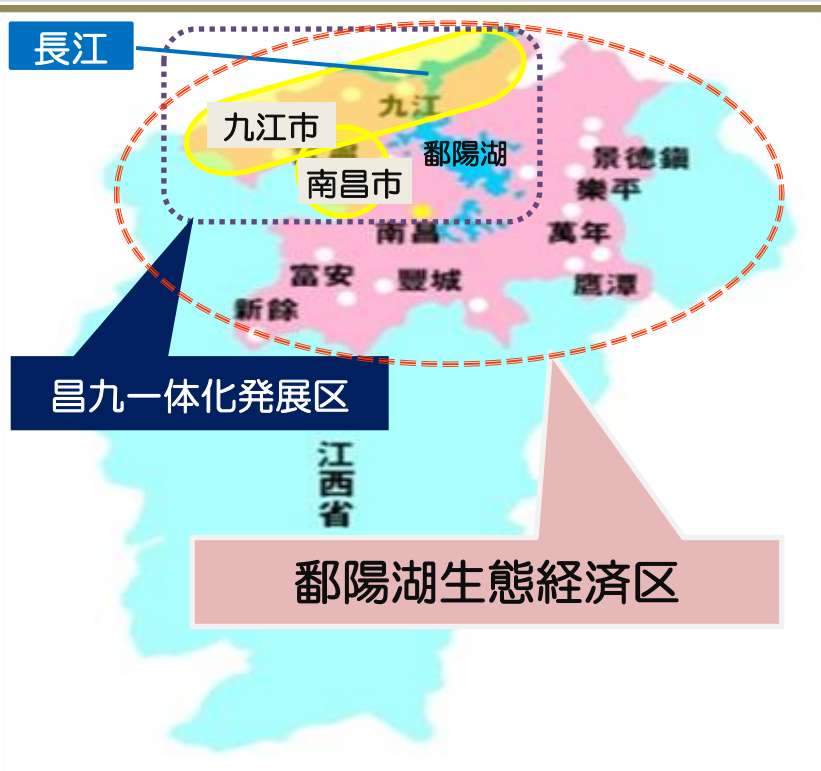
南昌市、九江市、贛州市、宜春市の社会消費品小売総額を合わせた数値が長沙市に近い。消費力は、武漢市、長沙市、鄭州市に劣る。



江西省では、贛州市の人口が飛びぬけて多く、1,000万人弱、全体の21%を占める。省都の南昌市は、その約半分の500万人程度である。

(出所：統計公報。南昌市の第一次産業から第三次産業の伸び率はジェトロ試算) (単位：万人) (出所：2014年統計公報、一部都市は2014年統計年鑑) Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

鄱陽湖生態經濟区



- 江西省北部に位置する中国最大の淡水湖「鄱陽湖」と、南昌（省都）、景德鎮、鷹潭の3都市と九江、新余、撫州、宜春、上饒、吉安市の38の県（市、区）が含まれる。
- 10年1月、国務院が国家戦略に引き上げ、江西省の成長に重要な役割を果たす経済区となった。
- 面積は5万平方メートルで、江西省の総面積の約3割、人口は5割、GDPは6割を占める。
- 全国大湖流域総合開発模範区、長江中下遊水生生態安全保障区を建設し、中部崛起重要先導区、国際生態經濟協力の重要なプラットフォームとなることをめざす。

鄱陽湖生態經濟区發展の中核を成す『昌九一体化發展計画』

- 14年9月に『昌九一体化發展規画（2013～2020年）』が発表された。『昌九一体化』は、南昌市と九江市の連動的な發展を推進することで、他地域の發展を牽引し、よりよい發展を目指す。同規画では、GDPに占める割合、都市化率を、15年、17年、20年の3段階で目標を掲げる。
- 14年の昌九のGDPは全省の35%、貿易額は42%、外国投資額は55%を占める。GDPは15年には36%、17年には38%、20年には40%を占めるべく、計画される。
- 九江市は鄱陽湖生態經濟区の水域面積で3分の2、湖岸線は57%を占める。同市には長江が流れ、「長江黄金水道」（長江流域都市の發展を促す。中国西部開放、中部崛起戰略の要となる国家戰略）建設の一環を成す。
- 九江市には5つの鉄道線と5つの高速道路、2つの国道が通り、1つの空港がある。陸河空を備え持ち、「昌九一体化發展計画」では、現代物流發展拠点としての役割も期待される。

2014年經濟指標	単位	江西省	昌九一体 (南昌・九江合計)	江西省に占める昌九一体の割合
面積	万km ²	16.69	2.6	16%
常住人口	万人	4,542	998	22%
GDP	億元	15,709	5,448	35%
社会消費品小売総額	億元	5,129	1,926	38%
都市住民1人当たり可処分所得	元/年	24,309	27,084	111%
貿易額	億ドル	428	180	42%
外国投資額 (実行ベース)	億ドル	85	47	55%

(出所：統計公報 「都市住民1人当たり可処分所得」は南昌市と九江市の平均値)

江西省の主要産業

産業区分	主要生産品	内容	代表的な企業など
非鉄産業	銅、タングステン、レアアース	銅：鷹潭市は全国最大の銅加工（精緻加工）産業基地。	江銅集団 （銅精錬能力は全国1位、世界3位）
		タングステン：全国の40%を生産、タングステン製錬製品の生産量は全国の半分。レアアース：贛州市に全国主要レアアース産業基地がある。	江西稀土金属钨業控股集团（JXTC）
電子情報産業	半導体照明、携帯電話などの最終端末、デジタル視聴製品および医療電子産業	吉安市、南昌市、共青城（九江市内にある）などに集積。半導体照明、携帯電話およびデジタル視聴製品の70%を生産。	LED産業：晶能光電、聯創光電、木林森電子 携帯電話通信産業：賽龍通信、興飛科技、盛泰通信 新型電子部品産業：欧菲光、聯創電子、紅板（江西） 電子材料産業：江銅-耶茲、九江德福
医薬産業	漢方、化学薬品、生物技術、医療機器	漢方薬産業全国の8%の生産量で全国2位、使い捨て無菌医療機器（注射器具など）および医薬衛生材料の輸出は全国10位以内。	江西青峰薬業、江西済民可信薬業
自動車産業	軽自動車、乗用車、バス	南昌市、九江市、景德鎮市がメイン生産基地。	江鈴集団、北汽昌河
航空産業	全国航空産業研究開発および生産基地	全国で唯一飛行機メーカー3社が立地。農林産業用飛行機、教育用飛行機など多種を生産。	昌河飛機、洪都集団
紡績産業	衣料、チョマ布など	衣服は全国で6位、チョマ布は全国で1位の生産量。	共青城（九江市）、青山湖区（南昌市）、奉新県（宜春市）に国家級紡績産業基地がある。
リチウム電池産業	リチウム鉱山資源が豊富	宜春ニオブタンタル鉱、リチア雲母の採掘可能量は全国の31%、世界の12%を占める。リチウム塩の生産能力は全国で第3位。	宜春市が主要な埋蔵地
鉄鋼産業	造船用鉄鋼、スクルー・スチール、スプリング平鋼	スプリング平鋼は国内市場の51%、ボイラー容器板は国内市場の19%、船舶用鋼板は国内市場の11%を占める。	方大鋼鉄集団、新余鋼鉄集団。2社で全省鉄鋼の98%の生産量を占める。
石油化学	石油化学工業製品、有機ケイ素、フッ素化学、塩素化学	真菌殺虫剤、ジベレリン原薬は国内市場の80%、有機ケイ素単体、アクリルアミドの国内市場は25%以上、アジアで生産量が最も多い。	贛昌石油化工、洪能石油化工、中国石油化工
建材産業	コンクリート、建築用陶磁器、ガラス繊維およびその製品	建築用陶磁器の生産量は全国3位、ガラス繊維の生産量は43万トン、全国3位。	高安建築陶磁器産業基地は全国5番目に大きい建築用陶磁器産業区である。
食品産業	有機食品、食糧、豚、油、お茶、水産品	全国の1.8%の耕地を占め、3.8%の食糧を生産。稲作製品は全国2位、柑橘類の生産量は全国7位、内オレンジは全国1位の生産量を誇る。有機食品の産量は全国でも上位にある。	江西恩泉油脂、江西中大生態農業科技、江西王品農業科技、江西浮梁貢茶業 現在国家級有機食品生産基地は3カ所、さらに5カ所増やす予定。

贛北地区
（南昌、九江、景德鎮）
自動車、航空、太陽光エネルギー、鋼材、光電子、家電、化学工業、陶器、建材、電子情報、食品加工、紡織服装、バイオ・新薬、サービスアウトソーシング

贛西地区
（新余、宜春、萍郷）
冶金、太陽光エネルギー、リチウム電池、医薬、陶器、紡織服装、機械電子、竹木加工、花火爆竹、食品加工

贛東北地区
（上饒、鷹潭）
鋼材加工、太陽光エネルギー、建材、食品、漢方薬、光学、水利、精密機械

贛中地区
（贛州、吉安、撫州）
レアメタル加工、電子情報、通信端末、バイオ製薬、食品加工、紡織服装、新エネルギー、化学工業建材、機械

（出所）江西省第12次五カ年規画から作成

南昌市の所得の発展段階

内陸の主要都市の所得は2009~2012年の上海市に相当

2014年 都市部住民1人当たり可処分所得において、現状の南昌市は2009年の上海市に近い水準。2013年時点では上海市の2008年の水準であったが、1年間進んだ。

(単位：元)

<主要都市1人当たり可処分所得の発展段階（都市部、2014年）>

